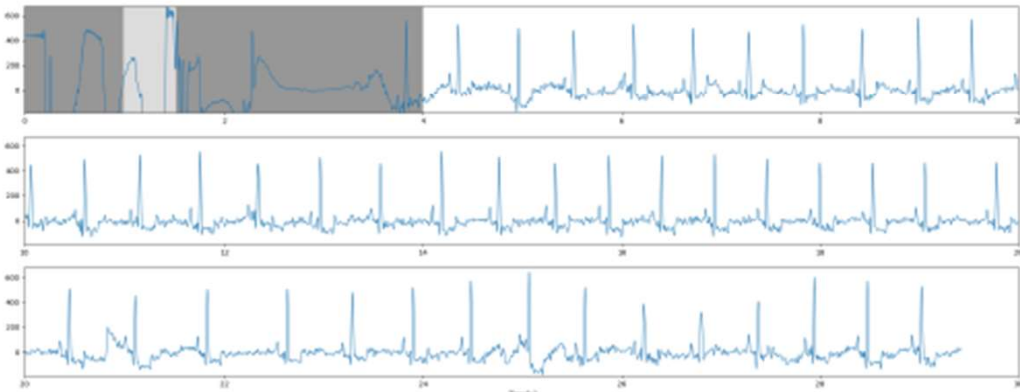


 ハートチェックレポート

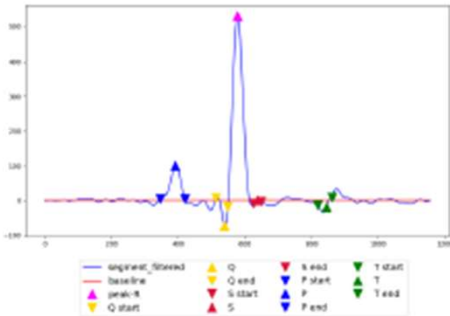
測定日時 : 2024年 6月 26日 10:30
 動物名 : △△ちゃん
 飼い主名 : □□様
 動物種 : イヌ

心電波形情報 (ノイズ除去処理前)



※測定した心電波形の全体を示しています。
 白 色 部 分 : AI解析に使用した部分です。
 薄いグレー部分 : 適切な心電波形が得られましたが、AI解析には使用しなかった部分です。
 濃いグレー部分 : 適切な心電波形が得られず、AI解析には使用しなかった部分です。

解析波形 (ノイズ除去処理後)



波形パラメータ (ノイズ除去処理後)

波形パラメータ
 心拍数 (bpm) : 103
 R-R変動率 (%) : 9.97
 QTc (s) : 0.23

※ 波形パラメータの標準値
 心拍数 (bpm) : 70~160
 R-R変動率 (%) : ≥ 6.0
 QTc (s) : 0.15~0.25

AIチェック

グループ	1	2		3
		2	2+	
AIチェック結果			*	
疾患が見つかった割合	少なめです	やや少なめです	やや多めです	多めです
AIから飼い主様へのアドバイス	定期的に測定して状態の変化に気を付けてください	散歩中に休む・咳など気になることがあれば獣医師に相談ください	獣医師の指示があれば必要な検査を受けてください	精密検査の受診を推奨します

犬AI波形異常検出結果	幅広QRS、ST下降、R幅拡大
-------------	-----------------

※ AIチェック結果は、チェックした心電が「健康なイヌ」と「心疾患のイヌ」の心電に、どれだけ近似しているかを解析し、心疾患が見つかった割合に応じて分類されたグループのいずれに該当するかを示しています。疾患の有無や重篤度、疾患に罹患するリスクを示すものではありません。
 ※ 立位で簡単に測定しているため、ノイズ処理の限度を超える心電ノイズが生じると、疾患が見つかった割合が多めに出る場合があります。その場合は、再度測定を実施してください。
 ※ AIチェックは、飼い主様に適切な心臓の見守りを提案するもので、診断を補助するものではありません。

〇〇〇〇動物病院

ハートチェックレポート

測定日時 : 2024年 6月 26日 10:30
 動物名 : △△ちゃん
 飼い主名 : □□様
 動物種 : イヌ

AIチェック

グループ	1	2		3
		2	2+	
AIチェック結果			*	
疾患が見つかった割合	少なめです	やや少なめです	やや多めです	多めです
AIから飼い主様へのアドバイス	定期的に測定して状態の変化に気を付けてください	散歩中に休む・咳など気になることがあれば獣医師に相談ください	獣医師の指示があれば必要な検査を受けてください	精密検査の受診を推奨します

犬に多く発生する僧帽弁閉鎖不全症において、発病の初期段階では、弁の調子が悪くなって血液の逆流や心雑音が確認されても、直ぐには心臓の機能に大きな影響を及ぼさず、心臓機能を測定する心電図に異常が認められない場合があります。また、心臓の形態や状況によっては、進行した段階でも心電図に異常を生じない事もあります。この疾患は、まず弁に異常が生じ、続いて心臓機能が低下する進行性ですので、ハートチェックの判定のみで判断せず、獣医師の診断、指示に必ず従うようにしてください。

【病院コメント欄】

- ☐ 特に問題ないようですので定期的な検診をお勧めします
- ☐ 少し気になるようですのでしばらく経過観察しましょう
- ☐ 精密検査をお勧めします
- ☐ 心雑音が確認されます



元気に見えても実は…

心臓病が進行しているかもしれません

定期的な検診を受けましょう

⚠️ このようなときは要注意 ⚠️

☐ 散歩の途中で立ち止まる ☐ 呼吸が荒くなった

☐ 運動を嫌がる ☐ 喉に何か引っかかったような咳をする (特に夜間)

気づいたらすぐに当院にご相談ください

心臓病について
もっと知りたい方はこちら

物産アニマルヘルスの提供する疾病解説コンテンツ
ワン！ペットフルライフ
 - For Wonderful Life with Dog & Cat -



<https://dog-heart.info/>

